



令和3年度 第4号 令和3年7月9日

鶴 鳥 星

阿久根市立鶴川内中学校

校 訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

校長室の窓から 1学期終了、健康で安全に過ごす夏休みに！

校長 中山 武広

千葉県で下校途中の小学生の列に飲酒運転のトラックが突っ込むという事故がありました。また、静岡県では大規模な土石流により、多数の家屋が流され、多くの住民が巻き込まれました。どこかで起きた痛ましいできごとは、本県でも本市でも起きる恐れがあり、我が身・我が家族にも起こり得ることとして気を引き締めたいと思います。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

我が身を振り返って、「あのとき命を落としていたかも」と思うことがいくつかあります。いちばん古い記憶は小学1年生の夏休みのできごと。いとこ兄たちと海水浴に出かけたとき、みんなは沖のほうに泳いでいき、私はまったく泳げなかったので、一人で浅瀬で遊んでいました。そのうち、退屈になってきて、私は、沖に向かって歩き出します。ドキドキしながら、膝の深さから腰の深さ、胸の深さ、肩の深さと進んでいって、首の深さまで進んだとき、急に怖くなって浜に戻ろうと振り返った途端、深みにはまります。

海中に沈んで、足が底に着くと跳び上がり、「ぶはあっ」と海面で息をする。すぐに沈み、また、底に足が着くと跳び上がって海面で息をする。やがて力尽きて海面まで上がれず、沈んだままになりました。光り輝く海面を頭上に見上げながら意識が遠のきます。次に意識が戻ったとき、私は、浜辺でみんなに取り囲まれて泣いていました。私の姿が見えなくなったのに気づいて、いとこの兄たちが助けてくれたのでした。

☆ ☆ ☆ ☆ ☆

今なおコロナ禍の収束が見通せない中に1学期が終了しますが、長期臨時休業もなく、校内行事では計画どおりに職場体験学習等が実施でき、校外行事では予定どおりに地区総体等が実施できました。昨年度に比すれば実に平穏な1学期であり、諸教育活動が通常どおりに実施できることのありがたさを楽しみ感じています。地域・保護者の皆様には、いろいろな場面でご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございました。

夏休みを迎え、生徒たちの主たる生活の場が家庭・地域となります。今後とも感染拡大防止の徹底や、交通事故・水難事故等の未然防止に努め、災害発生時の迅速な避難等も意識しながら、健康で安全に楽しく過ごす夏休みになればと切に願います。引き続き、地域・保護者の皆様の見守りや声かけをよろしくお願い申し上げます。

主な行事予定

月	日	曜	7月～8月の主な行事
7	13	火	租税教室・市議会議員視察 修学旅行に関する意見交換会
	14	水	出前授業・学校運営協議会 Yahoo 企業訪問(zoom)
	16	金	ハンヤ踊り体験学習
	20	火	終業式
	21	水	三者面談(~7/31)
	26	月	ソフトテニス部県大会
8	29	水	ポスター教室
	2	月	出校日 PTA 役員会
	11	水	リフレッシュウィーク(~17)
	13	金	閉庁日
	20	金	出校日
	22	日	PTA リサイクル活動
29	日	PTA 奉仕作業	

水難事故防止、熱中症対策に努めて健康に留意して過ごし、夏休みの計画を立てましょう。

第2次市学校規模適正化基本方針「未来へつむぐよりよい教育環境をめざして」の資料は玄関の机にあります。ご閲覧ください。

阿久根市小・中弁論大会

議長賞 貴島 麻衣

題「理想の自分」

ヘアードネーションに挑戦した内容でした。



努力目標

夏休みの学習と生活設計を立てよう。

一事徹底

「授業の受け方5章」を再確認しよう。

教育委員訪問・小中連絡会

6月10日(木)に、教育委員、教育委員会10人、小学校の先生方が参観されました。



参観中や質疑応答の中で、改善点や反省点もありましたが、それ以上に、多くのお褒めの言葉をいただきました。具体的には、真剣に学ぶ生徒の姿がいきいきとしていたことや、美しく、整理整頓された教室や廊下に掲示された作品には人としての温もりを強く感じる事ができたこと、元気よく、明るく、しかも静止しての挨拶に優しさや温かさを感じたこと等です。

このように学びの深さを大切にしたい取組が評価されたことは嬉しいことです。さらに、よりよい校風を創っていきましょう。

授業参観・学級PTA

6月25日(金)併せてフッ化物洗口についての保護者説明会がありました。



1年生は数学、2年生は数学、3年生は理科の授業参観と各学年での学級PTAが行われました。また、保護者に対して、フッ化物洗口体験を行い、歯のケアについて大切なことや進め方について説明がありました。これを機に家庭でも歯と口の健康について考えるきっかけとなりました。

地区総合体育大会

6月15日(水)~17日(木)に団体戦、個人戦が行われました。



コロナウイルス感染防止のため、選手のみでの試合となりましたが、総体を無事に開催することができたことに感謝です。大事な人の見えぬ姿、聞こえぬ声を背負い、運営する方々の労に感謝する大会となりました。応援、ありがとうございました。

★職場体験学習を終えて

『はたらく』=『働く』=『人が動いてこそ』職場体験学習であり、職業。

働く目的については、人それぞれの価値観で違っていい。たとえば、お金を稼ぐため、家計を助けるため、趣味や遊びを充実させるため、生きるため、生活を安定させるため、人の命を助けるためなどなど…。

どんな価値観のもとであっても、『働く』=『傍(はた)楽(らく)』ことを大事にしたい。傍(そば)にいる人やものが、楽になるように、楽しくなるように、笑顔になるように人が動くこと。それが社会のため、世界のためになるはず。

小林一三さんの言葉でもある「下足番を命じられたら、日本一の下足番になってみる。そうしたら、誰も君を下足番にしておかぬ。」そんな場面が、職場体験学習中にもあっただろう。その経験を大事にしてほしい。

昔、仕事とは、荒地を雨の日も風の日も田畑にするため耕し開墾したり、木を植えたりすることを「仕事」といった。現在の仕事や職業でお金を稼ぐことを「生業(なりわい)」といった。つまり、生活のための収入を得る仕事のことだ。仕事とは、収入がない、さしあたってはお金にならないことをすることだというのが本来の意味。『仕事』≠『収入』=『生業(なりわい)』ともいえる。だから、8時から出勤と言われて8時に来る人、その前に準備がおろそかになっていては仕事は遅れがちになる。仕事をしてこそ、生活も職業も生き生きとしてくるものだ。

たとえば、お茶を入れたり、職場の掃除をしたり、時間外であっても次の日の授業のために準備や後片付け…。それこそ、お金という形にはならないが、大事なことだ。係活動や給食の仕事も同じ。テストのための勉強も同じ。一銭にもならずとも傍が喜ぶ、これが仕事の方程式と同じといえないか。仕事ができこそ、それに見合った生業を得て、働けるのではないだろうか。

働くことについて体験して学んだことを今後の中学校生活に生かそう。

出水地区中学校総合体育大会 (ソフトテニス競技 (男子))

- 男子団体戦 第3位
- 男子個人戦 第3位 山下太一 (3)・又間 力 (2) ペア
- 第5位 藤田悠慎 (3)・西尾虎太郎 (3) ペア
- 女子個人戦 第4位 富吉もえ (3)・砂川美紗希 (3) ペア

